

「ペタッと SDGS 新聞学習ふせん」を使った出張授業@三重・四日市メリノール学院高校



(撮影：山田理恵)



四日市メリノール学院高校の3年生約150人を対象に、2023年6月7日、SDGsについて学ぶ新聞活用出張授業を行いました。

SDGsは2030年までに世界が取り組む行動計画で、17目標のうち、日本が達成できている目標は三つ。生徒さんたちは、予想以上に厳しい現状に驚いた様子でした。また、2030年までにどんな社会を望むのか、自分はどうありたいのかを先生と一緒に考えてもらいました。また、身近な食の問題からSDGsの課題を見つけてもらいました。

「ペタッと SDGS 新聞学習ふせん」を使ったワークショップでは、17目標のどれに関連するか考えながら記事を読み、「つぶやき」(感じたことや気づいたこと)を付箋に書いて、記事に貼ってもらいました。その後、グループ内で「記事のどこがゴールと関係あると思ったのか」「なぜ選んだのか」を順番に発表。最後に掲示板に貼った新聞に付箋を貼り替えて、他のグループがどんな記事に付箋を貼ったのか、どんな「つぶやき」をしたのか、見てもらいました。面白い「つぶやき」をした人、新聞広告やテレビ欄など記事以外に付箋を貼った人に、「どうして選んだのか」などを発表してもらいました。

同姓婚や性的マイノリティーなどジェンダーに関する記事に多くの付箋が貼られており、関心の高さがうかがえました。お寄せいただいた生徒さんたちの感想をご覧ください。

(小林裕子)

〈生徒さんたちの感想〉

・新聞の記事に対して自分の意見を言うということはありそうでなかった機会なので、今回体験して他のみんなの意見も知れて、「こんな意見もあったのか！」と色々な角度から記事の捉え方を学ぶことができました。

・ジェンダー平等や質の高い教育などは自らの少しの行動などでも少しの変化は出ると思いました。だから、これからはもっと自分でよく考えて周りの意見も取り入れながら少しでも変えるために自ら行動をしていきたいと思いました。

・日本ではまだ達成できてないことが多いことに気がつくことができたので、私も少しでも貢献できるようになりたいです。障害者に対しての社会での接し方であったり、同性婚に対しての問題であったり、新聞にはいろんな情報がのっていて勉強になることが分かりました。

・今回の学習で SDG s の取り組みや問題が想像していたよりも身近にあり、日々の生活の意識を少し変えるだけでも実現し得ることがあることを学びました。

・将来、私たちが安心して暮らせるような世界を築くためには大きなことを考える必要はなく、今からでもできるささいなことを実践していこうと思った。すぐに電気を消す、シャワーの流しっぱなしを止めるなど直せるところを見つけていこうと思いました。

・17ある SDG s の中でも1番、日本が取り組めていないのは5番のジェンダー問題かなと思います。自分の性を隠さず堂々と生活する人は増えてはきたけど、同性婚が認められていない現状を見るとまだまだだなと感じます。

・新聞には自分の知らない記事もたくさんあったので、これから少しだけでも、新聞を読む機会をつくっていったらなと思いました。

・SDG s の中で15番の陸の豊かさを守ろうという目標について深く考えました。スポーツをする上でグラウンドや自然の環境などはとても重要です。陸の豊かさを守るためにはどのような行動をすればよいのかを考えた時に、大きな規模だと難しいので小さなことから考えると、私たちが毎日使っている学校のグラウンドを大切にしようと思います。

以上